

尼崎市の個別避難計画の試行的な取り組み状況について (個別避難計画作成モデル地区の進捗状況等)

令和3年10月1日時点

No.	連協名	連協人口	避難行動要支援者数		進捗状況
		高齢化率		同意者数	
1	A	2,204人	606人 (27.5%)	247人 (11.2%)	<ul style="list-style-type: none"> ・8月に会長と今後のスケジュールについて協議した。 ・緊急事態宣言延長のため、10月に役員向けの説明会を実施する予定である。 ・その後、防災や福祉に関する住民勉強会を経て、当事者選定や計画作成を行う予定である。
		32.1%			
2	B	3,809人	1,034人 (27.1%)	423人 (11.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に当事者宅へ訪問し、計画作成を進めていくことを確認した。 ・7月に社協、地域課、障害者福祉支援課でこれまでの経過と今後の進め方について説明した。 ・9月に当事者、単組役員4名、社協、市(福祉課、障害者支援課、地域課)の関係者で顔合わせを兼ねて、個別避難計画作成の話し合いを行った。 ・9月末に当事者、役員17名に対して、防災研修会を実施し、災害や個別避難計画などについて理解を深めた。
		32.0%			
3	C	1,646人	476人 (28.9%)	189人 (11.5%)	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に連協会長と個別避難計画作成のスケジュール打合せを行った。 ・7月に連協会長と市(福祉課、地域課)、支部社協、地域包括支援センターで打合せを行った。 ・8月に連協会議で個別避難計画作成について説明し、まずは1つの福祉協会でモデル的に作成することが決まった。 ・9月に連協会長、市(福祉課、地域課)、支部社協で集まり、会長が選定した対象者の報告と、当事者記載の個別避難計画について情報を共有した。 ・今後、CMや地域包括支援センターの協力を得て、対象者の個別避難計画の内容を詰めていく予定である。
		35.1%			
4	D	5,670人	1,347人 (23.8%)	523人 (9.2%)	<ul style="list-style-type: none"> ・4月にまちづくり協議会で個別避難計画について周知した。 ・8月に連協会長と打合せをして個別避難計画のサンプルを提供し、まずは独居高齢者を優先に作成する方向で調整した。
		28.0%			
5	E	3,805人	921人 (24.2%)	284人 (7.5%)	<ul style="list-style-type: none"> ・7月に連協会長と今後のスケジュール・勉強会の内容について協議した。 ・8月に連協会長より次の報告があり、今後の予定について確認をした。 <ol style="list-style-type: none"> ①モデルとなる対象者を決定し、本人と福祉協会長が承諾 ②民生児童委員と福祉協会長の打合せ終了 ③緊急事態宣言延長により10月に勉強会を実施する予定
		27.6%			

※避難行動要支援者数・同意者数の枠にあるカッコ内の%は、連協人口に対しての数値。

参考:その他進捗状況

○社会福祉連絡協議会との調整

2つの連協で避難行動要支援者名簿と個別避難計画について説明

○福祉専門職団体等との調整

6月 尼崎市ケアマネジャー協会、尼崎市社会福祉協議会、地域包括支援センター、障害者施設等に防災対応力向上研修の受講を呼びかけた。(希望者:事業所関係6人、地域包括支援センター6人、社会福祉協議会8人)

武庫地区ケアマネ交流会で要支援者システムを活用した個別避難計画作成の説明をした。